

# HP Performance Manager

Windows®、HP-UX、Solaris、Linux オペレーティング システム用

ソフトウェア バージョン : 9.00

---

インストール、アップグレード、および移行ガイド

マニュアルのリリース日付 : 2010 年 10 月  
ソフトウェアのリリース日付 : 2010 年 10 月



## 法律上の通知

### 保証について

HP 製品およびサービスに関する保証条件は、製品およびサービスに付属する保証書に明示された保証条件に限定されます。本ドキュメントの記載内容はいかなる追加保証をも行うものではありません。HP は、本文書内の技術上または編集上の誤りや遺漏について責任を負わないものとします。

本ドキュメントに記載した情報は、予告なく変更されることがあります。

### 制限付き権利

機密コンピュータ ソフトウェア。所有、使用、コピーには、HP が発行する有効なライセンスが必要となります。商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェア ドキュメント、商用アイテムのテクニカル データは、FAR 12.211 および 12.212 に従い、米国政府のベンダー標準商業ライセンスのもと、ライセンスを取得しています。

### 著作権情報

© Copyright 2007-2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標情報

Java™ およびすべての Java ベースの商標とロゴは、米国およびその他の各国のサン マイクロシステムズ社の登録商標です。

Microsoft®、Windows NT®、Windows®、MS Windows® は、マイクロソフト社の米国登録商標です。

Oracle® は、オラクル社（カリフォルニア州レッドウッド）の米国登録商標です。

OSF/Motif® および Open Software Foundation® は The Open Group の米国およびその他の国における商標です。

Pentium® は、インテル社の米国登録商標です。

UNIX® は、オープン グループの登録商標です。

### オープン ソースについて

本製品には、OpenSSL ツールキットで使用するために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています (<http://www.openssl.org/>)。

本製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) 氏によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

本製品には、Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) 氏によって作成されたソフトウェアが含まれています。

## ドキュメントの更新

このガイドのタイトル ページには、次の識別情報が含まれています。

- ソフトウェアのバージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
- マニュアルのリリース日付。ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアのリリース日付。ソフトウェアの本バージョンがリリースされた日付を示します

最新の更新を確認し、最新版のドキュメントを使用しているかどうかを確認するには、次の URL にアクセスしてください。

**<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>**

このサイトでは、HP Passport に登録してサインインする必要があります。HP Passport ID を登録するには、以下にアクセスしてください。

**<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>**

または HP Passport ログイン ページの **[New users - please register]** リンクをクリックしてください。

製品のアップデート契約を締結していただくことにより、更新版または最新版がお客様に送付されます。詳細は、HP の営業担当者にお問い合わせください。

## サポート

次の HP Software サポート Web サイトにアクセスしてください。

**<http://support.openview.hp.com/support.jsp>**

HP Software オンラインサポートにより、対話形式による技術サポート ツールに、効率的にアクセスすることができます。このサポートサイトでは、次のことが可能です。

- 重要なナレッジ ドキュメントの検索
- サポート依頼と改善要求の提出、および経過の追跡
- ソフトウェア パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート連絡先の問い合わせ
- 利用可能なサービスについての情報の参照
- 他のソフトウェア ユーザーとの情報交換の場への参加
- ソフトウェア トレーニングの検索および参加登録

これらのサポート項目をご利用いただくためには、**HP Passport** ユーザーとしての登録の後、サインインしていただくことが必要となります。また、いくつかのサポート項目は、サポート契約中のユーザーにのみ提供されています。

アクセス レベルおよび **HP Passport** の詳細については、次の URL を参照してください。

**[http://support.openview.hp.com/new\\_access\\_levels.jsp](http://support.openview.hp.com/new_access_levels.jsp)**

# 目次

1	このドキュメントで使用される表記法	7
2	インストール概要	9
	サポートされたプラットフォーム	9
	Solaris ゾーンでサポートされる Performance Manager の設定	10
	インストール要件	10
	ハードウェアの要件	11
	メモリの要件	11
	サポートされたブラウザ	11
	Java 実行環境 (JRE) の要件	12
	HP-UX	12
	Windows	12
	インストールの前提条件	12
	言語のオプション	13
3	インストールの手順	15
	Performance Manager の Windows へのインストール	16
	サポート付きインストール	16
	サポートなしインストール	18
	HP Performance Manager の HP-UX、Sun Solaris、Linux へのインストール	18
	サポート付きインストール	18
	サポートなしインストール	20
	インストール結果	20
	Performance Manager ライセンス キーのインストール	21
	HP Performance Manager の削除	23
	HP Performance Manager の Windows からのアンインストール	23
	サポート付きアンインストール	23
	サポートなしアンインストール	24
	HP Performance Manager の HP-UX、Solaris、Linux からのアンインストール	24
	設定ファイルおよびユーザー グラフ テンプレートの削除	24
	クリーンアップ スクリプトを使用した Performance Manager ファイルの削除	24
4	Performance Manager 9.00 へのアップグレード	27
	Performance Manager バージョン 8.10 からのアップグレード	27
	Windows での Performance Manager 9.00 へのアップグレード	28
	HP-UX、Solaris、Linux での Performance Manager 9.00 へのアップグレード	28
	Performance Manager バージョン 8.10 から 9.00 へのデータ移行	29
	アップグレード結果	30

<b>5 Performance Manager のクラスタ環境でのインストール</b> .....	31
クラスタ用語 .....	31
リソース グループ .....	31
システム要件 .....	32
<b>Performance Manager</b> をクラスタ環境にインストールするための要件 .....	32
インストール前に .....	32
<b>Windows</b> クラスタ環境での <b>Performance Manager</b> のインストール .....	32
<b>HPOM</b> がインストールされているノードに <b>Performance Manager</b> をインストールする場合 ....	32
<b>HPOM</b> がインストールされていないノードに <b>Performance Manager</b> をインストールする場合 ...	33
<b>HP-UX</b> 、 <b>Solaris</b> 、および <b>Linux</b> の各ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備.....	35
<b>HP-UX</b> 、 <b>Solaris</b> 、または <b>Linux</b> クラスタでの <b>Performance Manager</b> のインストール .....	35
クラスタにインストールした <b>Performance Manager</b> を <b>9.00</b> へアップグレード .....	36
<b>HP Performance Manager</b> の削除 .....	36
<b>6 関連ドキュメント</b> .....	37
サイト固有のパッチ .....	41

# 1 このドキュメントで使用される表記法

このドキュメントでは、**HP Performance Manager** サーバー システム上のファイルの場所を参照する場合、以下の表記法が使用されます。



スラッシュは、**UNIX** システムではフォワード スラッシュ「/」、**Windows** システムではバック スラッシュ「\」が使用されます。このドキュメントの例および仕様には、フォワード スラッシュ「/」が使用されます。

表記法	説明	Windows システム上	UNIX システム上
<install_dir>	<b>Performance Manager</b> がインストールされたディレクトリ。	デフォルトのインストール ディレクトリは C:\Program Files\HP\HP BTO Software です。お使いのシステムに <b>OpenView Performance Agent</b> 、 <b>OpenView Reporter</b> または <b>OpenView Operations</b> など、以前のバージョンの <b>HP Software</b> 製品がインストールされている場合、デフォルトの <b>Performance Manager</b> インストール ディレクトリは C:\Program Files\HP OpenView です。	<b>HP-UX</b> 、 <b>Solaris</b> 、および <b>Linux</b> システムでは、インストール ディレクトリは /opt/OV です。
<data_dir>	<b>HP Software</b> 製品に関連するデータ ファイルおよびログ ファイルの格納先となる共有データ ディレクトリ	<b>Windows 2003</b> では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HP\HP BTO Software です。 <b>Windows 2008</b> では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\ProgramData\HP\HP BTO Software です。 お使いのシステムに <b>OpenView Performance Agent</b> 、 <b>OpenView Reporter</b> または <b>OpenView Operations</b> などの旧バージョンの <b>HP Software</b> 製品がインストールしてある場合、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\Program Files\HP OpenView\data です。	<b>HP-UX</b> 、 <b>Solaris</b> 、および <b>Linux</b> システムでは、データ ディレクトリは /var/opt/OV です。

表記法	説明	Windows システム上	UNIX システム上
<PM_data_dir>	Performance Manager データファイルが保管されるディレクトリ。	Windows では、デフォルトの Performance Manager データディレクトリは <data_dir>\shared\server\ です。しかし、Windows クラスタ環境でのデフォルトのデータディレクトリは別の場所です。詳細については、Performance Manager のクラスタ環境でのインストールを参照してください。	HP-UX、Solaris、および Linux システムでは、Performance Manager データディレクトリは /var/opt/OV/shared/server です。



## 2 インストール概要

このガイドでは、Performance Manager 9.00 のインストール方法と Performance Manager 9.00 へのアップグレード方法を説明します。

この章では、以下の情報を説明しています。

- Performance Manager の最新バージョンが動作するオペレーティング システム。
- Performance Manager を実行するために必要なハードウェア / ソフトウェア コンポーネント。
- 操作環境に必要なコンポーネント。

HP Performance Manager をインストールする前に、[インストール要件](#)を確認してください。Performance Manager のマニュアルについては、[関連ドキュメント](#)を参照してください。

HP Performance Manager と同時に HP Operations Manager (HPOM) (Windows 版または UNIX 版) を使用する場合は、Performance Manager をインストールする前に HPOM をインストールし、設定しておく必要があります。

### サポートされたプラットフォーム

本バージョンの Performance Manager は、次のプラットフォームで使用可能です。

オペレーティング システム	アーキテクチャ	バージョン
Microsoft Windows	X86 および x64 (AMD64 および EM64T を含む)	<ul style="list-style-type: none"><li>• Windows Server 2003、サービスパック 2</li><li>• Windows Server 2003、リリース 2、サービスパック 2</li><li>• Windows Server 2008、サービスパック 1</li><li>• Windows Server 2008、サービスパック 2</li><li>• Windows Server 2008、リリース 2、サービスパック 2</li></ul>
HP-UX	IPF	HP-UX 11iV2 および HP-UX 11iV3
Sun Solaris	Sun SPARC	Solaris Sparc 10
Linux	Intel 64	RHEL 5.2、5.3、5.4

## Solaris ゾーンでサポートされる Performance Manager の設定

Performance Manager は、Solaris 10 ネイティブ ゾーンのみでサポートされます。ゾーンに Performance Manager をインストールする場合、Performance Manager インストール用にサポートされる設定は、下記のみです。

```
SUNW_PKG_ALLZONES = false
```

```
SUNW_PKG_HOLLOW=false
```

```
SUNW_PKG_THISZONE=true
```

したがって、Performance Manager は、選択したグローバル ゾーンまたは非グローバル ゾーンにのみインストールされます。必要なゾーンでは、すべて手動でインストールする必要があります。インストールの方法は、[インストールの手順](#)を参照してください。

## インストール要件

インストール中、HP Software インストーラが次のタスクを実行します。

- お使いのシステムのディスク容量が要件を満たしているか確認します。ディスク容量の詳細は、[11 ページのハードウェアの要件](#)を参照してください。
- お使いのシステムに他の HP ソフトウェア製品がインストールされているか確認します。
- ポートが使用されているか確認します。競合が生じた場合、ポート設定を変更するよう指示が出されます。
- 検出された事項の詳細ログを提供します。
- インストールしたコンポーネントのリストを表示します。



インストール中、デフォルトのポート番号 **http (8081)**、**https (8444)**、シャットダウン ポート (**8006**)、**JK2-AJP 13 ポート (8010)** が他のアプリケーションにより使用されている場合、HP インストーラがこれを検出します。これらのポートのうちいずれかが他のアプリケーションにより使用されている場合、次の警告メッセージが表示されます。

情報：シャットダウン ポートは使用可能です。

情報：HTTP ポートは使用可能です。

警告：HTTPS ポートは使用されています。インストール後、変更してください。

Performance Manager のインストールは正常に終了しますが、デフォルトのポート番号を使用して Performance Manager にアクセスすることはできません。このような場合、Performance Manager にアクセスするには、**http**、**https**、シャットダウン、**JK2-AJP 13** の各ポート設定を変更する必要があります。詳細については、『[HP Performance Manager 管理者ガイド](#)』を参照してください。

## ハードウェアの要件

最適なパフォーマンスを得るには、**1 GB** 以上のメモリを推奨します。処理の遅いシステムやメモリの少ないシステムにインストールすると、パフォーマンスが遅くなる可能性があります。

### ディスク容量

HP Performance Manager のインストールに必要なディスクの最低空き容量：

プラットフォーム	必要なディスク容量
HP-UX IPF	750 MB
Windows x86	350 MB
Windows x64	450 MB
Solaris	300 MB
Linux	350 MB

- ▶ インストールのプロセス中、インストーラが必要なディスク容量を表示します。ただし、インストーラによって表示される値は不正確で、実際に必要なディスク容量よりはるかに少ない容量が表示されます。システムの実際のディスク容量が、ここに指定された必要容量よりも少ない場合、インストールは失敗します。

### メモリの要件

**1 GB** 以上の物理メモリ クラスタ環境の場合、クラスタの各ノードに **1 GB** の物理メモリがあります。

- ▶ 適切なパフォーマンスを得るには、**2 GB** 以上の物理メモリを推奨します。

## サポートされたブラウザ

Performance Manager にアクセスするのに必要な Web ブラウザは、以下のとおりです。

オペレーティング システム	サポートされたブラウザ
Microsoft Windows	<ul style="list-style-type: none"><li>Firefox 3.5.x および 3.6</li><li>Internet Explorer 7 および 8</li></ul>
HP-UX	Firefox 3.0.x
Sun Solaris	Firefox 3.5.x
Linux	Firefox 3.5.x

Performance Manager ホーム ページを表示するには、Adobe Flash Player 10 をインストールし、信頼済みサイトのリストに Performance Manager を追加して Internet Explorer (IE) または Mozilla Firefox ブラウザの JavaScript サポートを有効にします。詳細については、『HP Performance Manager 管理者ガイド』を参照してください。

## Java 実行環境 (JRE) の要件

### HP-UX

デフォルトの HP-UX 設定 (特にカーネル パラメータおよびシステム調節値) は、一部の Java アプリケーションに対応していません。通常手動で調整が必要なアプリケーションは、実行時間が長く、大量のスレッドを有し、Performance Manager のように、サーバー接続するクライアントの割合が高い、大規模なサーバーサイド Java アプリケーションです。スタンドアロンのバンドルである Java Out-of-Box (JOOB) のインストールを解決する方法。JOOB は、スタートアップ (RC) スクリプトをインストールし、カーネル パラメータを変更し、カーネルを再構築し、システムを再起動します。スタートアップ中に、スタートアップ スクリプトがシステム調節値を修正するため、Java は良いサンプル動作で起動できます。詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/products1/unix/java/java2/outofbox/index.html>

HP-UX システム用パッチについての詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/products1/unix/java/patches/index.html>

### Windows

Windows システムに Performance Manager をインストールする前に、次に示すパッチ (またはその更新版) をシステムに適用してください。

Java 実行環境 (JRE) バージョン 1.50 以降の対応に必要なパッチ	
Windows 2003	Windows Scripting Host バージョン 5.6、C++ ライブラリ msvc60.dll

Windows システムのパッチの詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://java.sun.com>

## インストールの前提条件

Performance Manager をインストールする前に、OvJREB を使用しているプロセスまたはアプリケーションを、すべて停止する必要があります。プロセスまたはアプリケーションを停止する手順については、該当製品またはアプリケーションの製品マニュアルを参照してください。

## 言語のオプション

**Performance Manager 9.00** には、英語版、日本語版、および簡体字中国語版が用意されています。ローカライズでは、ユーザー インターフェイスの各要素、**Web** ページ、ログ ファイルが、英語、日本語、簡体字中国語に翻訳されています。オンライン ヘルプとユーザー マニュアルは、英語と日本語に翻訳されています。

**Performance Manager** をインストールするとき、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示されます。英語とシステム ロケールが設定されている言語から選択する、オプションがあります。英語のロケールでは、**[English]** オプションのみが表示されます。

たとえば、日本語のロケールでは、**[日本語]** または **[English]** を選択できます。



## 3 インストールの手順



お使いのシステムに Performance Manager 9.00 をインストールするには、Windows システムをお使いの場合は管理者として、HP-UX、Solaris、Linux システムの場合はルート ユーザーとしてログオンする必要があります。

OvTomcatB が他の HP ソフトウェア製品によってインストールされている場合は、Performance Manager のインストール前に、OvTomcatb が非特権モードで実行（つまり HP-UX、Solaris、および Linux システムの場合はルート ユーザー権限なしで、Windows システムの場合は管理者権限なしで実行）されるように設定されていないことを、確認してください。OvTomcatB が非権限モードで実行されるように設定されている場合、ルート ユーザーまたは管理者のみが OvTomcatB を実行できるように設定を修正します。

Performance Manager を Windows、HP-UX、Solaris、および Linux システムにインストールするには、以下のセクションで説明する手順に従います。

- 16 ページの Performance Manager の Windows へのインストール
- 18 ページの HP Performance Manager の HP-UX、Sun Solaris、Linux へのインストール



インストール中、デフォルトのポート番号 http (8081)、https (8444)、シャットダウン ポート (8006)、JK2-AJP 13 ポート (8010) が他のアプリケーションにより使用されている場合、次の警告メッセージが表示されます。

情報：シャットダウン ポートは使用可能です。

情報：HTTP ポートは使用可能です。

警告：HTTPS ポートは使用されています。インストール後、変更してください。

この場合、Performance Manager のインストールは正常に終了しますが、デフォルトのポート番号を使用して Performance Manager にアクセスすることはできません。Performance Manager にアクセスするには、http、https、シャットダウン、JK2-AJP 13 の各ポート設定を変更する必要があります。詳細については、『HP Performance Manager 管理者ガイド』を参照してください。

HP Reporter 3.70 から Reporter 3.80 にアップグレードした場合、Graphing Component (GC) 4.x はシステムから削除されません。同じシステムに Performance Manager 9.00 をインストールしようとする、GC 4.x をアンインストールするよう、インストーラから指示されます。GC 4.x をアンインストールするには、下記のコマンドをコマンドプロンプトで実行します。

```
msiexec /x {90605306-2C02-4D00-ADD1-A3D0F1573EAA} /qb
```

ただし、お使いのシステムに Operations Manager for Windows 7.5 がインストールされており、これを Operations Manager for Windows 8.16 にアップグレードした場合、GC 4.x はお使いのシステムから自動的に削除されます。



Performance Manager をインストールするとき、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示されます。英語とシステム ロケールが設定されている言語から選択する、オプションがあります。英語のロケールでは、[English] オプションのみが表示されます。

## Performance Manager の Windows へのインストール

Windows システムに Performance Manager をインストールするには、次の手順のいずれかを実行してください。

- サポート付きインストール
- サポートなしインストール

▶ Performance Manager を Windows x64 にインストールする場合は、必ず x64 用のインストーラを選択してください。対応する部品番号については、リグス ノートを参照してください。

### サポート付きインストール

サポート付きインストールを実行するには：

- 1 Windows 用の HP Performance Manager CD/DVD メディア を、CD/DVD-ROM ドライブに挿入します。HP Performance Manager インストール用ホーム ページが表示されます。
- 2 [HP Performance Manager のインストール] をクリックします。

または

自動実行が有効になっていない場合、CD/DVD-ROM ドライブから **index.htm** をダブルクリックします。

HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。

▶ お使いの Windows システムに Performance Manager を初めてインストールする場合は、インストール用パラメータが指定された `ovinstallparams.ini` ファイルが、システムの `temporary` ディレクトリに作成されます。インストール中、HP Software インストーラは `ovinstallparams.ini` ファイルを確認します。インストーラがお使いのシステムで `ovinstallparams.ini` ファイルを検出すると、このファイルの値を再利用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 設定ファイルの値をデフォルト値として使用する場合、[はい] をクリックします。
- 既存の設定ファイルに上書きするには、[いいえ] をクリックします。

インストーラがファイルを検出できない場合は、デフォルト値の `ovinstallparams.ini` ファイルが作成され、`temporary` ディレクトリに保存されます。 `ovinstallparams.ini` データを保存するには、他の HP Software 製品をインストールする前に、別の場所にファイルをコピーします。

ユーザーがシステムのロケールを英語、日本語、簡体字中国語以外の言語に設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。システム ロケールを設定する言語を選択するオプションがあります。システム ロケールが他の言語に設定されている場合、インストーラには [English] のみが表示されます。

- 3 インストール ウィザードで、[次へ] をクリックします。[ライセンス契約] 画面が表示されます。



- 4 ライセンス契約の条件を読み、[ライセンス契約の条項に同意します] オプションを選択します。インストール ウィザードがインストール チェックを実行します。

▶ お使いのシステムに他の **HP Software** 製品がインストールされている場合、インストール ウィザードにより、当該製品のアプリケーション フォルダ パスおよびデータ フォルダ パスが、**Performance Manager** のインストール用デフォルト ディレクトリとして表示されます。他の **HP** 製品がインストールされておらず、**Performance Manager** を初めてインストールする場合は、次のディレクトリのフォルダ パスを指定します。

- a プログラム ファイルを保管したいアプリケーション フォルダ パスまたはディレクトリ。デフォルトのアプリケーション ディレクトリは C:\Program Files\HP\HP BTO Software です。
- b ログ ファイルなどのデータ ファイルを保管したいデータ フォルダ パスまたはディレクトリ。**Windows 2003** では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HP\HP BTO Software です。**Windows 2008** では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\ProgramData\HP\HP BTO Software です。

- 5 [次へ] をクリックします。[プレインストールの概要] 画面が表示されます。この画面には、インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。

- 6 [インストール] をクリックします。

▶ コンポーネントのうち、すでにインストールされているものがある場合、インストール中に [すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェック ボックスが表示されます。この場合、以下のいずれかのオプションを使用することができます。

- [すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
- [すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェック ボックスをオフにし、選択したコンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアすると、現在インストールされているソフトウェアはそのまま保持されます。

▶ インストールが失敗した場合、元に戻すか、インストールを終了することができます。[ロールバック] オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。[終了] をクリックすると、インストールが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、**Performance Manager** のインストールを開始すると、インストーラから、**Performance Manager** のインストール再開またはアンインストールのどちらかを実行するのか、確認を求められます。

- 7 [詳細] タブをクリックし、コンポーネント ツリーを展開して、**Performance Manager** と他の **HP** 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。

- 8 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、[ログ ファイルを表示します] をクリックします。

- 9 インストールを完了するには、[完了] をクリックします。デスクトップに **Performance Manager** アイコンが作成されます。**Performance Manager** を開始するには、**Performance Manager** アイコンをダブルクリックします。**HP Performance Manager** ホーム ページが表示されます。

▶ システムを再起動する必要がある場合、メッセージ「システム設定の変更を有効にするには、システムを再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」が表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

## サポートなしインストール

- ▶ サポートなしインストールでは、システムの **temporary** ディレクトリに `ovinstallparams.ini` ファイルがある場合、インストーラはこの値をデフォルト値として使用します。インストールを開始する前に、このファイルが使用できるか確認してください。このファイルを変更したい場合、インストール前に修正してください。

サポートなしインストールを実行するには：

- 1 Windows コマンドプロンプトを開き、以下に示すように、**HPOvPM\_9.00.000\_setup.exe** ファイルが保存されているドライブの名前を入力します。  
**<drive>**：  
ここで、**drive** は、Performance Manager ファイルが含まれている CD/DVD-ROM ドライブです。
- 2 コマンドプロンプトに次の構文を入力します。  
**HPOvPM\_9.00.000\_setup.exe -i silent**

- ▶ インストール プロセスが、バックグラウンドで実行されます。[Windows タスク マネージャ] -> [プロセス] を開いて、プロセス一覧に **HPOvPM\_9.00.000\_setup.exe** が含まれていることを確認します。<temp\_directory>\HPOvInstaller ディレクトリ内に作成されるログ ファイル <temp\_directory>\HPOvPM\_9.00.000\_HPOvInstaller と <temp\_directory>\HPOvInstaller\PerfUtil-mm-dd-yyyy.log をチェックして、インストールが完了したかどうかを確認することもできます。

ここで、<temp\_directory> は、システムの temporary ディレクトリを指します。

## HP Performance Manager の HP-UX、Sun Solaris、Linux へのインストール

HP-UX、Solaris、または Linux システムに HP Performance Manager をインストールするには、次のいずれかの手順を実行してください。

- サポート付きインストール
- サポートなしインストール

### サポート付きインストール

HP Performance Manager は、グラフィカル インターフェイスまたはコマンドライン インターフェイスにより、お使いの HP-UX、Solaris、または Linux システムにインストールできます。

#### グラフィカル インターフェイスによる HP Performance Manager のインストール

X11 インターフェイスを使用して Performance Manager をインストールするには、次のタスクを実行します。

- 1 root ユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 9.00 CD/DVD-ROM メディアを、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 インストール開始にあたり、X11 ターミナル ウィンドウを使用するには、DISPLAY 変数をエクスポートし X11 ターミナルをポイントするようにします。これには、次のコマンドを入力します。

```
export DISPLAY=<IP_Address/system_name>:0.0
```

- 4 次のように入力します。  
<CD/DVD-ROM> HPOvPM\_9.00.000\_setup.bin

HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。このウィンドウには、導入メッセージが表示されます。



お使いの HP-UX、Solaris、または Linux システムに Performance Manager を初めてインストールする場合は、インストール用パラメータが指定された `ovinstallparams.ini` ファイルが、システムの `temporary` ディレクトリに作成されます。インストール中、HP インストーラが `ovinstallparams.ini` ファイルを確認します。HP インストーラがお使いのシステム上で `ovinstallparams.ini` ファイルを検出すると、このファイルに指定された値を再利用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 設定ファイルの値をデフォルト値として使用する場合、[はい] をクリックします。
- 既存の設定ファイルに上書きするには、[いいえ] をクリックします。

HP インストーラがファイルを検出できない場合は、システムにデフォルト値の `ovinstallparams.ini` ファイルが作成され、`temporary` ディレクトリに保存されます。`ovinstallparams.ini` データを保存するには、他の HP 製品をインストールする前に、別の場所にファイルをコピーします。

ユーザーがシステムのロケールを英語、日本語、簡体字中国語以外の言語に設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。システム ロケールを設定する言語を選択するオプションがあります。システム ロケールが他の言語に設定されている場合、インストーラには [English] のみが表示されます。

- 5 HP Performance Manager インストール ウィザードで、[次へ] をクリックします。[ライセンス契約] 画面が表示されます。
- 6 ライセンス契約の条件を読んでください。インストールを続けるには、[ライセンス契約の条項に同意します] オプションを選択します。インストール ウィザードがインストール チェックを実行します。
- 7 [次へ] をクリックします。[プレインストールの概要] 画面が表示されます。画面には、インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 8 [インストール] をクリックします。



インストール中、[すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェック ボックスが表示される場合があります。この場合、以下のいずれかのオプションを使用することができます。


- [すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
- [すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェック ボックスをクリアし、選択した HP Software コンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアしても、現在インストールされているソフトウェア コンポーネントは変更されません。



インストールが失敗した場合、元に戻すか、インストールを終了することができます。[ロールバック] オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。[終了] をクリックすると、インストールが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、Performance Manager のインストールを開始すると、インストーラから、Performance Manager のインストール再開またはアンインストールのどちらかを実行するのか、確認を求められます。

- 9 [詳細] タブをクリックし、コンポーネント ツリーを展開し、コンポーネントのリストを表示します。
- 10 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、[ログ ファイルを表示します] をクリックします。

11 インストールを完了するには、[完了]をクリックします。

-  システムを再起動する必要がある場合、メッセージ「システム設定の変更を有効にするには、システムを再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」が表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

## コマンドライン インターフェイスによる HP Performance Manager のインストール

コマンドライン インターフェイスを使用して Performance Manager をインストールするには：

- 1 root ユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 9.00 CD/DVD-ROM メディアを CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 以下のコマンドを実行します。

— Performance Manager をスタンドアロン システムにインストールする場合：

```
<CD/DVDROM_mount>/HPOvPM_9.00.000_setup.bin -i console
```

ユーザーがシステムのロケールを英語、日本語、簡体字中国語以外の言語に設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。システム ロケールを設定する言語を選択するオプションがあります。システム ロケールが他の言語に設定されている場合、インストーラには

- 4 ライセンス情報について、プロンプト「ライセンス契約の条項に同意します」が表示されたら、「Y」と入力して条件に同意し、インストールを続けます。インストーラが、すべてのインストール要件を確認します。
- 5 続行するには、**Enter** をクリックします。プレインストールの概要が表示されます。
- 6 続行するには、**Enter** をクリックします。


インストールが完了すると、インストールが正常に終了したという内容のメッセージが送られます。

## サポートなしインストール

サポートなしインストールを実行するには：

- 1 root ユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 9.00 CD/DVD-ROM メディアを CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 次の構文をコマンドプロンプトに入力します。

```
HPOvPM_9.00.000_setup.bin -i silent。
```

-  インストーラが、稼働中の HP Performance Manager のインストールを検出した場合、**-i silent** コマンドの実行により、HP Performance Manager はアンインストールされます。検出されない場合は、Performance Manager がインストールされます。

- 4 インストールを検証するには、ログ ファイルを確認します。

## インストール結果

インストールが正常に行われた場合：

- HP-UX、Solaris、および Linux システム上では、アプリケーションディレクトリパスおよびデータディレクトリパスが表示されます。
- インストールが終了したら、`/var/tmp/HPOvPM-9.00.000_HPOvInstaller.txt` ファイルと `/var/tmp/HPOvInstaller/PerfUtil-mm-dd-yyyy.log.0` ファイルを参照して、インストール中に何か問題が発生していないか確認してください。

この場合、**mm** は月、**dd** は日、**yyyy** は年を表します。ファイル名は、最後にインストールが実行されたときのタイムスタンプを示します。

インストールディレクトリのプログラムファイルで指定した場所から、**HP Performance Manager** のドキュメントを使用できます。**HP Performance Manager** のすべてのドキュメントの一覧については、[第 6 章、関連ドキュメント](#)を参照してください。



**Performance Manager** 最新バージョンをインストールするか、最新バージョンにデータ移行またはアップグレードすると、`/var/opt/OV/shared/server/conf/perf/` ディレクトリに存在する `OVPmconfig.ini` ファイルと `OVPmUsers.xml` ファイルに、次のうち 1 つまたは複数のメッセージが適宜出力されます。

- **Performance Manager 9.00** を初めてインストールした場合は、Performance Manager Version 09.00.000 というメッセージが出力されます。
- **Performance Manager** バージョン **8.10** または **8.20** からデータを移行した場合は、Migrated to Performance Manager Version 09.00.000 というメッセージが出力されます。
- **Performance Manager** バージョン **8.10** または **8.20** からアップグレードした場合は、Upgraded to Performance Manager Version 09.00.000 というメッセージが出力されます。

## Performance Manager ライセンス キーのインストール

**Performance Manager** を使用するには、ライセンスキーが必要です。**Performance Manager** をインストールして初めて使用する場合は、**60 日有効な試用ライセンス** (別名: インスタント オン ライセンス) が付与されます。製品の使用を継続するには、この **60 日** の試用期間内に、正式なライセンスキーを取得するか、試用期間を延長する必要があります。



**Performance Manager** バージョン **8.10** または **8.20** を **60 日有効な試用ライセンス** (別名: インスタント オン ライセンス) で使用しており、試用ライセンスの有効期限が切れる前に **Performance Manager** バージョン **9.00** にアップグレードすると、バージョン **9.00** は **60 日有効な新しい試用ライセンス** でインストールされます。たとえば、**Performance Manager** バージョン **8.10** または **8.20** を **60 日間** の試用ライセンスで使用しており、**15 日後** にバージョン **9.00** にアップグレードした場合、**Performance Manager 9.00** は **60 日有効な新しい試用ライセンス** でインストールされます。

**正式なライセンスを取得するには、次のオプションのうち 1 つを行います。**

Web サイト [www.webware.hp.com](http://www.webware.hp.com) から、正式なライセンスまたは試用ライセンスの延長を要求する。電子メールまたはインターネット接続により、ライセンスキーが提供されます。

**ライセンスキーを確認し、インストールするには、以下のステップに従います。**

- 1 下記のコマンドをコマンドプロンプトで実行します。

```
<bin_dir>\ovpm license
```

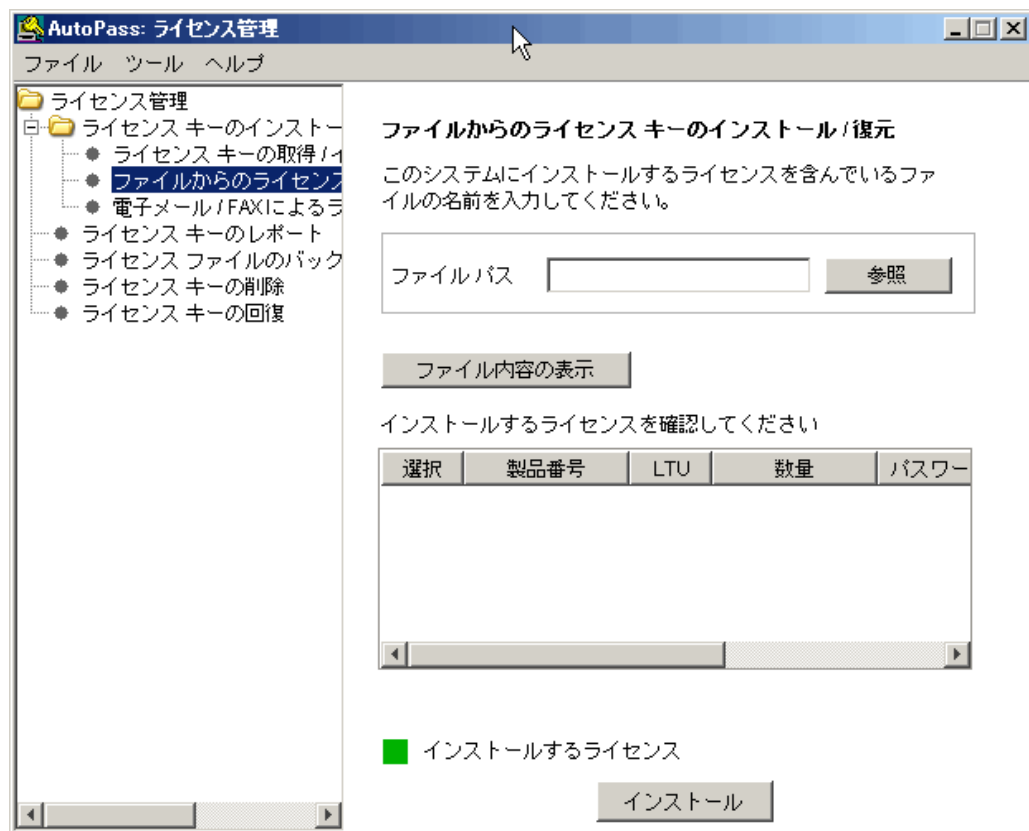
お使いの Performance Manager ライセンスの状態が表示された後、コマンドラインプロンプト「License Command>」が表示されます。

- ▶ HP-UX、Solaris、および Linux システムでは、License Management GUI を適切な表示ウィンドウに送る **DISPLAY** 変数をエクスポートしてから、**ovpm license** コマンドを実行します。

Performance Manager を試用ライセンスで実行している場合は、メッセージ「インスタントオン: Yes」、ライセンス有効期限、ライセンス有効期限までの残り日数が表示されます。

正式な製品ライセンスが既にインストールされている場合は、メッセージ「HP Performance Manager には、永久ライセンスがあります」が表示されます。

- 2 コマンド **gui** を License Command> コマンドプロンプトで実行します。**[AutoPass: ライセンス管理]** ユーザー インターフェイスが表示されます。



- 3 **[AutoPass: ライセンス管理]** ウィンドウに以下のオプションが表示されます。ご希望の要件に合ったオプションを選択してください。

— ライセンス キーのインストール

- ライセンス キーの取得/インストール - このオプションは、インターネット接続を使用してお使いの HP ソフトウェア製品のライセンス キーを取得するために、使用します。
- ファイルからのライセンス キーのインストール/復元 - このオプションは、ASCII テキスト ファイルからライセンス キーをインストールするために、使用します。
- 電子メール/FAX によるライセンス キーの要求 - このオプションは、HP 注文番号を使用してライセンス キーを要求するために、使用します。

- 4 上記のオプションのうち 1 つをクリックし、次の手順に従います。 詳細については、*HP Autopass* オンラインヘルプを参照してください。

または、ASCII テキスト ファイルでライセンス キーをお持ちの場合、以下のコマンドライン オプションを実行して、同様にインストールできます。

- 1 下記のコマンドを入力します。

```
<bin_dir>\ovpm license
```

ライセンス コマンドプロンプトが表示されます。

- 2 以下のコマンドを実行します。

```
License Command> install
```

- 3 入力ファイル名を入力するように求めるメッセージが、表示されます。

- 4 テキスト ファイルの名前を、パス全体と共に入力します。

ライセンスのインストールが終了すると、確認メッセージを受信します。



以下は、[Autopass: ライセンス管理] ユーザー インターフェイスで使用可能な他のオプションです。詳細については、*HP Autopass* オンラインヘルプを参照してください。

- ライセンス キーのレポート - このオプションは、インストールされている製品ライセンスのリストを表示するために、使用します。
- ライセンス ファイルのバックアップ - このオプションは、ファイルにライセンス キーのバックアップを取るために、使用します。
- ライセンス キーの削除 - このオプションは、インストールされているライセンスを削除するために、使用します。
- ライセンス キーの回復 - このオプションは、[ライセンス キーの削除] オプションを使用して削除したライセンスを追加するために、使用します。

## HP Performance Manager の削除

Windows、HP-UX、Solaris、または Linux システムにインストールされた Performance Manager を削除するには、以下のセクションで説明する手順に従います。

- HP Performance Manager の Windows からのアンインストール
- HP Performance Manager の HP-UX、Solaris、Linux からのアンインストール

### HP Performance Manager の Windows からのアンインストール

Windows システムから HP Performance Manager をアンインストールするには、次の手順のいずれかを実行してください。

- サポート付きアンインストール
- サポートなしアンインストール

#### サポート付きアンインストール

アンインストール ウィザードを使用して、Performance Manager をアンインストールするには：

- 1 HP Performance Manager が実行中の場合、停止します。
- 2 スタート > 設定 > コントロール パネルに進みます。

- 3 [プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。
- 4 [HP Performance Manager] を選択します。
- 5 [変更と削除] をクリックして、アンインストールします。HP Performance Manager アンインストール ウィザードが表示されます。
- 6 [アンインストール] オプションを選択します。
- 7 [次へ] をクリックします。[プレアンインストールの概要] 画面が表示されます。
- 8 [アンインストール] をクリックします。ウィザードが Performance Manager のアンインストールを開始します。
- 9 アンインストールを完了するには、[完了] をクリックします。

## サポートなしアンインストール

Performance Manager をコマンドプロンプトを使用してアンインストールするには：

- 1 Windows コマンドプロンプトを開き、以下に示すように、HP Performance Manager **HPOvPM\_9.00.000\_setup.exe** ファイルが保存されているドライブの名前を入力します。  
**<drive>**:  
この場合、*drive* は Performance Manager ファイルの場所となります。
- 2 以下のコマンドを実行します。  
**<drive>/HPOvPM\_9.00.000\_setup.exe -i silent**

## HP Performance Manager の HP-UX、Solaris、Linux からのアンインストール

- 1 root ユーザーとしてログオンします。
- 2 ディレクトリ /opt/OV/Uninstall/HPOvPM に移動します。
- 3 アンインストールを実行します。
  - X11 インターフェイスを使用するには、必要に応じて **DISPLAY** 変数をエクスポートし、X11 ターミナルをポイントするようにします。次いで、コマンドを実行します。  
**./setup.bin**
  - コマンドライン インターフェイスを使用する場合、次記のコマンドを実行します。  
**./setup.bin -i console**
- 4 Uninstall を選択します。

## 設定ファイルおよびユーザー グラフ テンプレートの削除

Performance Manager を削除しただけでは、設定ファイルやユーザー グラフ テンプレートは削除されません。データ ディレクトリからファイルを手動で削除する必要があります。

## クリーンアップ スクリプトを使用した Performance Manager ファイルの削除

Performance Manager コンポーネント削除の後、次のクリーンアップ スクリプトを実行する必要があります。このスクリプトは **<install\_dir>\support** から入手できます。

Windows 用の **clnup\_ovpm.bat**

UNIX 用の **clnup\_ovpm.sh**



クリーンアップ スクリプトは、次のファイルを <PM\_data\_dir>\conf\perf から削除します。

- OVPMconfig.ini
- OVPMUsers.xml
- OVPMSystems.xml
- ovpm.tcf
- VPI\_GraphsUserFavorites.txt
- OVPMReportTemplate.htm
- 「**VPI\_**」 で名前が始まるすべてのフォルダ。



## 4 Performance Manager 9.00 へのアップグレード

お使いのシステムに HPOM がインストールされている場合、Performance Manager バージョン 9.00 にアップグレードする前に、お使いのシステムで、Windows 用 HPOM のバージョンが 8.10 以降、UNIX 用 HPOM のバージョンが 8.31 以降であることを確認してください。

- ▶ 1 <install\_dir>/newconfig ディレクトリの内容を変更した場合、アップグレード中に HP インストーラによってファイルが上書きされるため、Performance Manager 9.00 にアップグレードする前に、<install\_dir>/newconfig ディレクトリにある VPI\_Graphs テンプレート ファイルを、別の場所に保存することをお勧めします。
- ▶ 2 古いバージョンの Performance Manager (5.X、6.X および 8.00) からバージョン 9.00 に、直接アップグレードすることはできません。古いバージョンの Performance Manager からバージョン 9.00 にアップグレードする場合は、まずバージョン 8.10 にアップグレードし、その後バージョン 9.00 にアップグレードします。その方法については、*HP Performance Manager インストールおよびアップグレードガイド*、バージョン 8.10 を参照してください。
- ▶ 3 Performance Manager バージョン 8.10 または 8.20 を 60 日有効な試用ライセンス (別名: インスタント オン ライセンス) で使用しており、試用ライセンスの有効期限が切れる前に Performance Manager バージョン 9.00 にアップグレードすると、バージョン 9.00 は 60 日有効な新しい試用ライセンスでインストールされます。たとえば、Performance Manager バージョン 8.10 または 8.20 を 60 日間の試用ライセンスで使用しており、15 日後に Performance Manager バージョン 9.00 にアップグレードした場合、Performance Manager 9.00 は 60 日有効な新しい試用ライセンスでインストールされます。Performance Manager のライセンスについての詳細は [Performance Manager ライセンス キーのインストール](#) を参照してください。
- ▶ Performance Manager バージョン 8.10 または 8.20 から 9.00 にアップグレードすると、そのまま使用できるグラフの構成が変更されます。そのまま使用できるパフォーマンス グラフ テンプレートのファミリー名が、パフォーマンス履歴からシステム インフラストラクチャに変更されています。グラフ テンプレートは、新しいカテゴリに再構成されています。新しいグラフ テンプレートとカテゴリが追加されています。そのまま使用できるグラフ テンプレートの新しいアーキテクチャの詳細については、『[HP Performance Manager チュートリアル](#)』を参照してください。
- ▶ Performance Manager ユーザー インターフェイスでそのまま使用できるグラフ テンプレートの以前のアーキテクチャを表示する場合は、『[HP Performance Manager 管理者ガイド](#)』を参照してください。

### Performance Manager バージョン 8.10 からのアップグレード

HP インストーラがお使いのシステムから Performance Manager 8.10 を検出し、Performance Manager 9.00 にアップグレードします。

- インストールを完了するには、[完了]をクリックします。
- HP-UX、Solaris、Linux での Performance Manager 9.00 へのアップグレード

## Windows での Performance Manager 9.00 へのアップグレード

Performance Manager 9.00 にアップグレードするには：

- 1 HP Performance Manager 9.00 CD/DVD for Windows を、CD/DVD-ROM ドライブに挿入します。HP Performance Manager インストール ホーム ページが表示されます。
- 2 **[HP Performance Manager をインストール]** をクリックします。  
または  
CD/DVD-ROM ドライブで、**HPOvPM\_9.00.000\_setup.exe** をダブルクリックします。HP Performance Manager インストール ウィザードに、メディア ファイルおよびログ ファイルの場所が表示されます。
- 3 **[次へ]** をクリックします。[ライセンス契約] 画面が表示されます。
- 4 ライセンス契約の条件を読み、[ライセンス契約の条項に同意します] オプションを選択します。
- 5 **[次へ]** をクリックします。インストーラが、インストール要件を確認します。インストール要件の確認が終了したら、**[次へ]** をクリックします。[プレインストールの概要] 画面が表示されます。この画面には、Performance Manager とともにインストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 6 **[アップグレード]** をクリックします。
- 7 **[詳細]** タブをクリックし、コンポーネント ツリーを展開し、コンポーネントのリストを表示します。

アップグレード作業を完了するには、**[完了]** をクリックします。お使いのシステムから Performance Manager バージョン 8.10 または 8.20 が削除され、Performance Manager 9.00 のデスクトップ アイコンが作成されます。Performance Manager を開始するには、Performance Manager アイコンをダブルクリックします。HP Performance Manager ホーム ページが表示されます。

## HP-UX、Solaris、Linux での Performance Manager 9.00 へのアップグレード

Performance Manager をコマンド ライン インターフェイスでアップグレードするには：

- 1 root ユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 9.00 CD/DVD-ROM を、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 以下のコマンドを実行します。  
`<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_9.00.000_setup.bin -i console`
- 4 インストーラからインストールを継続する指示が出されたら、**Enter** キーを押してください。ライセンス情報について、「ライセンス契約の条項に同意します」というプロンプトが表示されます。
- 5 条件に同意し、インストールを続けるには、**Y** を入力します。インストーラによって、お使いのシステムがインストール要件を満たしているか確認されます。
- 6 インストールを続けるには、**Enter** キーを押してください。プレインストールの概要に、インストールするアプリケーションの名前およびバージョン、アプリケーション ディレクトリ、データ ディレクトリ パスなどの情報が表示されます。
- 7 インストールを続けるには、**Enter** キーを押してください。

## X11 インターフェイスを使用して Performance Manager をアップグレードするには：

- 1 root ユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 9.00 CD/DVD-ROM を、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 DISPLAY 変数をエクスポートし、X11 ターミナルをポイントするようにします。
- 4 以下のコマンドを実行します。  
`<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_9.00.000_setup.bin`  
HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。[次へ] をクリックします。[ライセンス契約] 画面が表示されます。
- 5 ライセンス契約の条件を読んでください。インストールを続けるには、[ライセンス契約の条項に同意します] オプションを選択します。
- 6 [次へ] をクリックします。[プレインストールの概要] 画面が表示されます。画面には、アップグレードされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 7 [アップグレード] をクリックします。
  - ▶ インストール中、[すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェック ボックスが、表示される場合があります。この場合、以下のいずれかのオプションを使用することができます。
    - [すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
    - [すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェック ボックスをクリアし、選択した **HP Software** コンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアしても、現在インストールされているソフトウェア コンポーネントは変更されません。
  - ▶ アップグレードが失敗した場合、元に戻すか、アップグレードを終了することができません。[ロールバック] オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。[終了] をクリックすると、アップグレードが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、Performance Manager のアップグレードを開始すると、インストーラから、Performance Manager のアップグレード再開またはアンインストールのどちらかを実行するかを、確認する指示が出ます。
- 8 [詳細] タブをクリックし、コンポーネント ツリーを展開し、コンポーネントのリストを表示します。
- 9 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、[ログ ファイルを表示します] をクリックします。
- 10 インストールを完了するには、[完了] をクリックします。

## Performance Manager バージョン 8.10 から 9.00 へのデータ移行

Performance Manager では、任意の対応プラットフォーム上の Performance Manager バージョン 8.10 のデータを、任意の対応プラットフォーム上の Performance Manager バージョン 9.00 に移行するためのコマンド ライン オプションを用意しています。データを移行するには、以下のタスクを実行します。

- 1 Performance Manager バージョン 8.10 がインストールされているシステムから、場所 `<PM_data_dir>/conf` を閲覧し、フォルダ「Perf」を Performance Manager バージョン 9.00 がインストールされているシステム上の同じ場所にコピーします。
- 2 Performance Manager 9.00 がインストールされているシステム上で、次のコマンドを実行します。

### ovpm migrate

Performance Manager 8.10 のデータすべてが、Performance Manager バージョン 9.00 がインストールされているシステムに移行されます。

移行に関連するログ ファイルは、<temp\_directory>/HPOvInstaller ディレクトリにあります。ログ ファイルには、適切なメッセージも含まれます。ログ ファイルのファイル名の形式は、PerfUtil-MM-dd-yyyy.log.0 です。

- ▶ Performance Manager 8.20 から 9.00 にデータを移行するために、**ovpm migrate** コマンドを実行する必要はありません。

## アップグレード結果

アップグレードが正常に行われた場合：

- HP-UX、Solaris、および Linux システム上では、アプリケーション ディレクトリ パスおよびデータ ディレクトリ パスが表示されます。
- Windows システム上では、HP\HP BTO Software\Performance Manager フォルダが Windows システムの [スタート]>[プログラム] メニューに追加されます。
- アップグレード後に関連するログ ファイルは <temp\_directory>/HPOvInstaller ディレクトリにあります。ログ ファイルには、適切なメッセージも含まれます。ログ ファイルのファイル名の形式は、PerfUtil-MM-dd-yyyy.log.0 です。

この場合、MM は月を、dd は日を、yyyy は年を示します。ファイル名は、最後にアップグレードが実行されたときのタイム スタンプを示します。

インストール ディレクトリのプログラム ファイルで指定した場所から、HP Performance Manager ドキュメントを使用できます。HP Performance Manager ドキュメントの全リストは、[第 6 章、関連ドキュメント](#)を参照してください。

- ▶ Performance Manager 最新バージョンへのインストール、移行、またはアップグレード後、ファイル OVPMconfig.ini および OVPMUsers.xml には、以下のうち 1 つまたは複数の適切なメッセージが含まれます。

- Performance Manager 9.00 を初めてインストールした場合は、Performance Manager Version 09.00.000 というメッセージが出力されます。
- Performance Manager バージョン 8.10 または 8.20 からデータを移行した場合は、Migrated to Performance Manager Version 09.00.000 というメッセージが出力されます。
- Performance Manager バージョン 8.10 からアップグレードした場合は、Upgraded to Performance Manager Version 09.00.000 というメッセージが出力されます。

# 5 Performance Manager のクラスタ環境でのインストール

Performance Manager を Windows、HP-UX、Solaris、および Linux のクラスタ環境にインストールするには、次のセクションに示した手順に従います。HP Performance Manager インストール ウィザードは、クラスタ環境を検出することができません。

- 32 ページの [Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール](#)
- 35 ページの [HP-UX、Solaris、または Linux クラスタでの Performance Manager のインストール](#)

HP Performance Manager と同時に HP Operations Manager (HPOM) for Windows または for UNIX を使用する場合、Performance Manager をインストールする前に HPOM をインストールし、設定をしておく必要があります。

## クラスタ用語

### リソース グループ

VERITAS クラスタ、Sun クラスタ、MC/ServiceGuard などのクラスタ環境では、アプリケーションは複合リソースとして示されます。リソースを集めたリソース グループは、クラスタ環境で実行されるアプリケーションを示します。

リソース グループの用語は、クラスタ環境により異なります。異なるクラスタ環境での用語リストは、表 1 を参照してください。本マニュアルでは、クラスタ環境のリソース グループを指す一般的な用語として、クラスタ固有の用語の代わりに高可用性 (HA) リソース グループが使用されています。Performance Manager はクラスタ指向であり、専用リソース グループが必要となります。

表 1 クラスタ環境のリソース グループ

クラスタ環境	略語	HA リソース グループの指す内容
MC ServiceGuard	MC/SG	パッケージ
VERITAS クラスタ サーバー	VCS	サービス グループ
Sun クラスタ	SC	リソース グループ
Microsoft サーバー クラスタ	MSCS	リソース グループ

- ▶ お使いのシステムに HPOM がインストールされている場合、Performance Manager を同じリソース グループに設定する必要があります。
- ▶ お使いのシステムに Performance Manager と Reporter がインストールされている場合、Performance Manager と Reporter の両方に同じリソース グループを設定しても、別々のリソースグループを設定しても構いません。

## システム要件

Performance Manager をインストールする前に、クラスタの各ノードについて 10 ページのインストール要件が満たされていることを確認してください。

### Performance Manager をクラスタ環境にインストールするための要件

Performance Manager にクラスタ設定をするには、次のリソースが使用可能か確認してください。

- 最低 2 つのノード サーバー クラスタ
- Performance Manager 設定ファイル保存用の共有ディスク
- クラスタの仮想サーバー名を解決する最低 1 つの専用静的 IP アドレス

## インストール前に

システムに HP Operations Manager がインストールされていない場合、Performance Manager をクラスタ環境でインストールする前に、データ ディレクトリのファイルシステムを準備する必要があります。実行方法は、以下のセクションで説明する手順を参照してください。

- 33 ページの Windows ノードのデータ ディレクトリのファイルシステムの準備。
- 35 ページの HP-UX、Solaris、および Linux の各ノードのデータ ディレクトリのファイルシステムの準備。

HP Operations Manager がクラスタ環境でインストールされている場合、ファイルシステムを準備する必要はありません。そのまま、インストールを進めることができます。実行方法は、以下のセクションで説明する手順を参照してください。

- 32 ページの Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール。
- 35 ページの HP-UX、Solaris、または Linux クラスタでの Performance Manager のインストール。



同じクラスタの複数のノードで、同時にインストールを開始しないでください。Performance Manager を、同時に複数のノードにインストールすることはできません。

### Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール

Performance Manager をクラスタ上で実行するには、クラスタのすべてのノードに Performance Manager をインストールする必要があります。クラスタ システムに Performance Manager 9.00 をインストールするには、以下のタスクを実行します。

#### HPOM がインストールされているノードに Performance Manager をインストールする場合

- 1 インストール方法は、16 ページの Performance Manager の Windows へのインストールを参照してください。設定を変更しないでください。
- 2 手順 9 に進みます。



## HPOM がインストールされていないノードに Performance Manager をインストールする場合

ファイル システムを準備する必要があります。詳細は、33 ページの **Windows ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備** を参照してください。ファイル システムを準備した後、インストールを進めます。インストールの方法は、**Windows** でのファイル システム準備後のインストール手順を参照してください。

### Windows ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備

- 1 クラスタの共有ドライブでの <PM\_data\_dir> の位置を、特定します。
- 2 ディレクトリ構造を作成します。たとえば、データ ディレクトリとして R:\HP を使用する場合は、共有されたクラスタ ドライブに完全なディレクトリ構造 R:\HP\<data\_dir>. を作成します。

### Windows でのファイル システム準備後のインストール手順

データ ディレクトリのファイル システムを準備したあと、**Performance Manager** をインストールするため、以下のタスクを実行します。

- 1 以下の構文をコマンド プロンプトに入力します。

```
HP0vPM_9.00.00_setup.exe -Dpmdatadir=<PM_data_dir>
```

**HP Performance Manager** インストール ウィザードが表示されます。



**Performance Manager** をお使いの **Windows** システムに初めてインストールする場合、インストール用パラメータを含む `ovinstallparams.ini` ファイルが、システムの `temporary` ディレクトリに作成されます。インストール中、**HP Software** インストーラは `ovinstallparams.ini` ファイルを確認します。インストーラがお使いのシステムで `ovinstallparams.ini` ファイルを検出すると、このファイルの値を再利用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 設定ファイルの値をデフォルト値として使用する場合は、**[はい]** をクリックします。
- 既存の設定ファイルに上書きするには、**[いいえ]** をクリックします。

インストーラがファイルを検出できない場合は、デフォルト値の `ovinstallparams.ini` ファイルが作成され、`temporary` ディレクトリに保存されます。 `ovinstallparams.ini` データを保存するには、他の **HP Software** 製品をインストールする前に、別の場所にファイルをコピーします。

ユーザーがシステムのロケールを英語、日本語、簡体字中国語以外の言語に設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。システム ロケールを設定する言語を選択するオプションがあります。システム ロケールが他の言語に設定されている場合、インストーラには **[English]** のみが表示されます。

- 2 インストール ウィザードで、**[次へ]** をクリックします。[ライセンス契約] 画面が表示されます。

- 3 ライセンス契約の条件を読み、[ライセンス契約の条項に同意します] オプションを選択します。
  - ▶ お使いのシステムに他の **HP Software** 製品がインストールされている場合、インストール ウィザードにより、該当製品のアプリケーション フォルダ パスおよびデータ フォルダ パスが、**Performance Manager** のインストール用デフォルト ディレクトリとして表示されます。他の **HP** 製品がインストールされておらず、**Performance Manager** を初めてインストールする場合、次のディレクトリのフォルダ パスを指定します。
    - a プログラム ファイルを保管したいアプリケーション フォルダ パスまたはディレクトリ。デフォルトのアプリケーション ディレクトリは C:\Program Files\HP\HP BTO Software です。
    - b ログ ファイルなどのデータ ファイルを保管したいデータ フォルダ パスまたはディレクトリ。**Windows 2003** では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HP\HP BTO Software です。**Windows 2008** では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\ProgramData\HP\HP BTO Software です。
- 4 [次へ] をクリックします。[プレインストールの概要] 画面が表示されます。この画面には、インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 5 [インストール] をクリックします。
  - ▶ コンポーネントのうち、すでにインストールされているものがある場合、インストール中に [すでにインストールされているコンポーネントパッケージの修復を強制的に行います] チェック ボックスが表示されます。この場合、以下のいずれかのオプションを使用することができます。
    - [すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
    - [すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェック ボックスをオフにし、選択したコンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアすると、現在インストールされているソフトウェアはそのまま保持されます。
  - ▶ インストールが失敗した場合、元に戻すか、インストールを終了することができます。[ロールバック] オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。[終了] をクリックすると、インストールが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、**Performance Manager** のインストールを開始すると、インストーラから、**Performance Manager** のインストール再開またはアンインストールの、どちらかを実行するかを確認する指示が出ます。
- 6 [詳細] タブをクリックし、コンポーネント ツリーを展開して、**Performance Manager** と他の **HP** 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。
- 7 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、[ログ ファイルを表示します] をクリックします。
- 8 インストールを完了するには、[完了] をクリックします。デスクトップに **Performance Manager** アイコンが作成されます。**Performance Manager** を開始するには、**Performance Manager** アイコンをダブルクリックします。HP **Performance Manager** ホーム ページが表示されます。
  - ▶ システムを再起動する必要がある場合、メッセージ「システム設定の変更を有効にするには、システムを再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」が表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

- インストールを確認する方法は、20 ページのインストール結果を参照してください。
- Performance Manager のホーム ページに、ブラウザからアクセスできることを確認してください。URL に、ノードの名前または IP アドレスを指定します。

例: `http://xyz.abc.hp.com:8081/OVPM`

- Performance Manager を停止するため、次の構文をコマンドプロンプトに入力します。  
`ovc -stop ovtomcatB`
- 次のノードに共有ドライブを含むリソース グループを移動します。
- クラスタの該当ノードから、共有ドライブにアクセスできるか確認します。
- クラスタ内のすべてのノードについて、手順 1 から手順 11 を繰り返します。
- Performance Manager のインストールが完了したら、すべてのノードで Performance Manager を開始します。次の構文をコマンドプロンプトに入力します。  
`ovc -start ovtomcatB`
- すべてのノードに Performance Manager がインストールされた後、ブラウザから Performance Manager ホーム ページにアクセスできるか確認します。URL に、仮想のノード名または仮想 IP アドレスを指定します。

構文:

`http://<clustername>:8081/OVPM`

`http://<clusterIPaddress>:8081/OVPM`

デスクトップ上の Performance Manager アイコンをクリックして Performance Manager を開く場合、ショートカットを修正し、クラスタ名または IP アドレスをポイントするようにする必要があります。デフォルトのショートカットは、物理ノードの名前または IP アドレスをポイントします。

▶ Performance Manager を設定する場合、設定の変更がクラスタのすべてのノードに一貫して行われていることを確認してください。詳細については、*HP Performance Manager 管理者ガイド* を参照してください。

## HP-UX、Solaris、および Linux の各ノードのデータ ディレクトリのファイルシステムの準備

データ ディレクトリのファイルシステムを準備するには、次のステップに従います。

- ディレクトリ `<OVDataDir>/shared/server` を作成します。デフォルトのデータ ディレクトリ (`OVDataDir`) は、`/var/opt/OV/conf/perf` です。別のディレクトリを指定することはできません。
- 共有ドライブのマウント ポイントの準備:
  - `/var/opt/OV/shared/server`マウント ポイントには必ず、root ユーザーによる「書き込み」権限を与えてください。ファイルシステムにマウントした後、インストールを進めます。

## HP-UX、Solaris、または Linux クラスタでの Performance Manager のインストール

Performance Manager をクラスタ上で実行するには、クラスタのすべてのノードに Performance Manager をインストールする必要があります。クラスタ システムに Performance Manager 9.00 をインストールするには、以下のタスクを実行します。

- Performance Manager を HPOM がインストールされているノードにインストールする場合、手順 2 へ進みます。Performance Manager を HPOM がインストールされていないノードにインストールする場合、データ ディレクトリのファイルシステムを準備する必要があります。

まず、ファイルシステムの準備方法については、35 ページの [HP-UX、Solaris、および Linux](#) の各ノードのデータ ディレクトリのファイルシステムの準備のセクションを参照してください。

- 2 Performance Manager 9.00 をこのノードにインストールします。インストールの方法は、18 ページの [HP Performance Manager](#) の [HP-UX、Sun Solaris、Linux](#) へのインストールを参照してください。設定を変更しないでください。
- 3 すべてのノードのインストールを確認する方法は、20 ページの [インストール結果](#) を参照してください。
- 4 Performance Manager 9.00 のホーム ページに、ブラウザからアクセスできるか確認してください。URL に、クラスタの主なノード名または IP アドレスを指定します。

例: <http://xyz.abc.hp.com:8081/OVPM>

- 5 Performance Manager 9.00 を停止するため、以下の構文をコマンドプロンプトに入力します。  
`ovc -stop ovtomcatB`
- 6 次のノードに共有ディスクを含むリソース グループを移動します。
- 7 クラスタの該当ノードから、共有ドライブにアクセスできるか確認します。
- 8 クラスタ内のすべてのノードについて、手順 1 から手順 5 を繰り返します。
- 9 すべてのノードで Performance Manager のインストールが完了したら、すべてのノードで Performance Manager を開始します。次の構文をコマンドプロンプトに入力します。  
`ovc -start ovtomcatB`
- 10 すべてのノードに Performance Manager がインストールされた後、ブラウザから Performance Manager ホーム ページにアクセスできるか確認します。URL に、仮想のノード名または仮想 IP アドレスを指定します。  
`http://<clustername>:8081/OVPM`  
`http://<clusterIPaddress>:8081/OVPM`

▶ Performance Manager を設定する場合、設定の変更がクラスタのすべてのノードに一貫して行われていることを確認してください。詳細については、[HP Performance Manager 管理者ガイド](#) を参照してください。

## クラスタにインストールした Performance Manager を 9.00 へアップグレード

すべてのノードにインストールされている Performance Manager を、一度に 1 ノードずつ 9.00 にアップグレードできます。実行方法は、[Performance Manager バージョン 8.10](#) からのアップグレードで説明する手順を参照してください。

## HP Performance Manager の削除

Performance Manager のアンインストール方法は、23 ページの [HP Performance Manager](#) の [削除](#) を参照してください。Performance Manager をクラスタの最後のノードからアンインストールする際、最後のノードの共有ドライブが作動しているか確認してください。

## 6 関連ドキュメント

**Performance Manager** に関する情報は、複数のソースから入手することができます。**Performance Manager** 使用法の主な情報源として、コンテキスト依存のヘルプシステムをご利用いただけます。お使いのシステムに **Performance Manager** をインストールすると、同時に、インストールガイドおよびリリースノートがインストールされます。

ドキュメント	場所	用途
コンテキスト依存のオンラインヘルプ	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Performance Manager</b> ヘルプのドロップダウンメニューからご利用いただけます。</li><li>• コンテキスト依存ヘルプのページは、それぞれの画面に対応しており、画面およびダイアログボックス上でヘルプボタンをクリックすると表示されます。</li></ul>	以下のタスクを行うためのユーザーガイド： <ul style="list-style-type: none"><li>• すぐに使用できるサンプルテンプレートを使用した、さまざまな種類のグラフ作成</li><li>• インスタンス比較グラフ、システム比較グラフ、マルチソースグラフのデザイン</li><li>• 既存のグラフ定義の編集、およびユーザー定義グラフとしての保存</li><li>• ドリルダウンで、必要な精度によるデータ表示</li><li>• お気に入りリストへのグラフの追加</li><li>• グラフの削除</li></ul>
チュートリアル	<b>Performance Manager</b> ヘルプのドロップダウンメニュー	<b>Performance Manager</b> の設定およびさまざまなタスクの実行を行うための、ステップごとの説明。
管理ガイド		データソースの設定、セキュアな通信の設定、バッチパラメータの使用、顧客/ユーザー/ノードの管理などに関する情報の提供。
リリースノート		<b>Performance Manager 9.00</b> リリースに関する情報の提供。



## A コンポーネントおよびパッチ

Performance Manager の各バージョンのインストール パッケージから入手できるコンポーネントおよびパッチのリストを次の表に示します。

製品バージョン / パッチ	コンポーネント / コンポーネント依存関係 / パッチ
8.10	<ul style="list-style-type: none"><li>• HPOvBbc - 06.10.070</li><li>• HPOvJbbc - 06.10.070</li><li>• HPOvCtrl - 06.00.080</li><li>• HPOvJsec - 6.00.050</li><li>• HPOvSecCo - 6.00.050</li><li>• HPOvJxpl - 6.00.096</li><li>• HPOvXpl - 6.00.096</li><li>• HPOvLic -<ul style="list-style-type: none"><li>— 05.50.066 (Windows)</li><li>— 05.51.061 (HPUX)</li><li>— 05.51.053 (Solaris)</li></ul></li><li>• HPOvJPacc 10.50.090</li><li>• HPOvTomcatB 05.05.236</li><li>• HPOvJREB 1.05.006</li><li>• HPOvSecCC 6.00.050</li></ul>
8.21 (Linux 版)	<ul style="list-style-type: none"><li>• HPOvBbc - 06.10.105</li><li>• HPOvJsec - 06.10.015</li><li>• HPOvSecCC - 06.00.055</li><li>• HPOvCtrl - 06.10.015</li><li>• HPOvJxpl - 06.10.035</li><li>• HPOvSecCo - 06.10.015</li><li>• HPOvGC - 08.21.000</li><li>• HPOvLcja - 06.10.010</li><li>• HPOvTomcatB - 06.00.020</li><li>• HPOvJbbc - 06.10.105</li><li>• HPOvLcko - 06.10.010</li><li>• HPOvXpl - 06.10.035</li><li>• HPOvJPacc - 11.00.006</li><li>• HPOvLczC - 06.10.010</li><li>• HPOvJREB - 01.06.001</li><li>• HPOvPM - 08.21.000</li></ul>





## B パッチ コマンド

### サイト固有のパッチ

以下のコマンドを使用することで、Performance Manager 用のサイト固有のパッチ (ホットフィックス) を配備できます。

- **ovpm deploywar "<location>"** - Performance Manager の war ファイルの配備および展開を行います。このコマンドを使用する前に、詳細情報について、サイト固有のパッチに関連付けられた **README** ファイルを参照してください。ここで、*location* は、war ファイルの場所を指します。このコマンドを実行すると、ovpmbatch により生成されたすべてのグラフが削除されます。本オプションにより、自動的に以下の操作を行います。
  - a Performance Manager アプリケーションを停止します。
  - b Perf.war ファイルを、<Install\_dir>/www/webapps/OVPM で指定した場所から抽出します。このファイルは Performance Manager 用のバイナリを含みます。
    - ▶ 場所を指定しない場合、デフォルトで Perf.war ファイルが、場所 <Install\_Dir>/newconfig/OVPM から <Install\_dir>/www/webapps/OVPM へ抽出されます。
  - c Performance Manager アプリケーションを開始します。

